

**製品名: PAF-R ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab15693**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率 ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000

分子量

## 抗原情報

遺伝子名	PTAFR
別名	PTAFR; PAFR; Platelet-activating factor receptor; PAF-R; PAFr
遺伝子 ID	5724.0
SwissProt ID	P25105
免疫原	抗血清はヒト PTAFR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 194-243

## 背景

この遺伝子は、細胞膜の脂質ラフトおよび/またはカベオラに局在する、血小板活性化因子（PAF）の7回膜貫通型Gタンパク質共役受容体をコードしています。PAF（1-O-アルキル-2-アセチル-sn-グリセロ-3-ホスホリルコリン）は、腫瘍形成、腫瘍増殖、血管

新生、転移、および炎症誘発プロセスにおいて重要な役割を果たすリン脂質です。PAFがPAF受容体 (PAFR) に結合すると、ホスホリパーゼC、D、A2、マイトジェン活性化プロテインキナーゼ (MAPK)、ホスファチジルイノシトールカルシウムセカンドメッセンジャーシステムなど、多数のシグナル伝達経路が刺激されます。PAFRの活性化後、細胞は急速に脱感作され、この不応性状態はPAFRのリン酸化、インターナリゼーション、およびダウンレギュレーションに依存します。選択的スプライシングによって、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq提供、2011年8月],機能: 血小板活性化因子 (PFA) の受容体。PFAは走化性リン脂質メディエーターであり、強力な炎症作用、平滑筋収縮作用、および降圧作用を有する。ホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャー系を活性化するGタンパク質を介してその作用を媒介すると考えられる。誘導: 顆粒球マクロファージコロニー刺激因子 (GM-CSF)、インターロイキン-5、およびn-酪酸による。類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。組織特異性: 胎盤、肺、左心室および右心室、心房、白血球、および分化したHL-60顆粒球に発現する。、

## 研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;

## 画像データ



PTAFR抗体を用いたLOVO細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。